地域包括ケアの地区展開　令和８年度　太子堂　地区アセスメント

人口

面積（ｋ㎡）	人口（人）	人口密度（人/ｋ㎡）	高齢者人口（人）	高齢化率（%）	年少人口（人）	年少人口率（%）	世帯数（世帯）	平均世帯人数（人）	高齢者がいる世帯数				高齢者がいる		介護保険		障害者手帳保持者		障害サービス受給者	
										高齢単身者世帯数	高齢者のみ世帯数	その他高齢者がいる世帯	世帯率（%）	内高齢単身・高のみ世帯率	認定者数（人）	認定率（%）	身体障害者手帳	愛の手帳	自立支援給付	障害児通所給付
1.048	24,493	23,371	4,028	16.45%	2,038	8.32%	16,227	1.51	3,107	1,673	652	782	19.15%	14.33%	870	21.60%	417	63	99	58

傾向

令和８年４月１日現在、高齢化率は16.45%と区の平均（20.72%）を下回る。一方で、年少人口も8.32%と区平均（10.94%）より低い。高齢者は少ないが、子どもも少ない。平均世帯人数が1.51人で区平均（1.83人）より低いことから、単身世帯が多い地区であると推察される。また、昼間常住人口比率が150%近くと高く、住宅都市せたがやの中では、特徴的な数字を示している。

地域活動

町会・自治会数	会員世帯数	サロン等登録団体数					社協・新たな居場所登録団体数	社協・民間施設の活動場所発掘件数	社協・地区サポーター登録数	生活支援体制整備事業　協議体開催回数	資源開発・生活支援サービス件数		主な活動団体とその取組内容
			サロン	子育てサロン	ミニデイ								
7	9,785	10	8	1	1		8	21	41	3	1		地区内の諸問題の解決を図り、各種団体との密接な関係を保ちながら、地域の核として自主的な活動を行っている主な団体　〇太子堂地区連合町会、日赤奉仕団太子堂分団、身近なまちづくり推進協議会、ごみ減量・リサイクル推進委員会、民生委員児童委員協議会、青少年太子堂地区委員会、太子堂地区社会福祉協議会、見守りネットワーク会議（地区情報連絡会） 〇子育て支援者ネットワーク会議

生活支援

地域密着型サービス							ショートステイ	特別養護老人ホーム	介護老人保健施設	都市型軽費老人ホーム	サービス付き高齢者向け住宅、有料老人ホーム		障害者・児　通所系・共同生活援助等
定期巡回･随時対応型訪問介護看護	夜間対応型訪問介護	認知症対応型通所介護	小規模多機能型居宅介護	看護小規模多機能型居宅介護	認知症高齢者グループホーム	地域密着型特別養護老人ホーム						うち、特定施設入居者生活介護	障害者通所支援（わんぱくクラブ三軒茶屋）、就労継続支援Ｂ型施設（リバティ世田谷、アンシェーヌ藍（Ｆａｃｔｏｒｙ藍分場））、共同生活援助（ちゃお三軒茶屋）
1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2	1	

障害相談支援機関・相談支援事業所

スペース　ココカラ。、ぷらっとホーム世田谷 、ぷらっとホーム世田谷分室、世田谷ひきこもり相談窓口「リンク」

医療

医療機関、訪問看護等

〇病院４か所（三軒茶屋病院、三軒茶屋第一病院、東都三軒茶屋リハビリ病院、青葉病院）　〇介護老人保健施設（ホスピア三軒茶屋）　〇一般診療所４４か所　〇歯科医院１９か所　〇薬局３１か所（診療所・歯科医院・薬局の個所数は「ハートページ世田谷区　介護サービス事業者ハンドブック２０２３～２０２４年」による）

子ども・教育	児童館	池尻児童館
	その他、児童施設	子育てステーション世田谷（ほっとステイ、発達相談室）
	おでかけひろば	なし
	保育施設	太子堂保育園、三軒茶屋保育園、昭和ナースリー、太子堂なごみ保育園、つくし保育園、鳩ぽっぽ保育園、三宿の杜なごみ保育園、もみの木保育園太子堂、認定こども園（昭和大学附属昭和こども園）、認証保育所（三茶こっこ保育園、都市型保育園ポポラー東京三軒茶屋園、ニチイキッズ三軒茶屋保育園）、小規模保育事業（もみのきMom太子堂）、病児・病後児保育室（キラリこどもクリニック病児保育室　病児保育室アップル）
	幼稚園	世田谷幼稚園
	新ＢＯＰ	新ＢＯＰ（太子堂小学校新ＢＯＰ、中里小学校新ＢＯＰ）
	地区内に所在する小学校または関係のある小学校	太子堂小学校、中里小学校、昭和女子大学附属昭和小学校
	地区内に所在する中学校または関係のある中学校	太子堂中学校、三宿中学校、昭和女子大学附属昭和中学校
	地区内に所在する高校・大学等または関係のある高校・大学等	昭和女子大学、昭和女子大学附属昭和高等学校、テンプル大学ジャパンキャンパス
	子どもに関するその他の事項	
	子ども食堂（せたがや子どもバル・虹、Pistaの子ども食堂、子ども食堂HUG ME Project、こどもカリーのわ）、子どもの学び場（歩の会）、ママ、パパのおしゃべり場（Ayumiルームママと一緒に歩む会）	
その他支援	その他の支援機関など（例：就労支援など）	
	世田谷文化生活情報センター（生活工房、パブリックシアター、せたがや国際交流センター「クロッシングせたがや」）、世田谷区男女共同参画センター「らぷらす」、世田谷若者総合支援センター（せたがや若者サポートステーション、メルクマールせたがや）、若者の居場所「あいりす」、世田谷区三軒茶屋就労支援センター（三茶おしごとカフェ）、ワークサポートせたがや（世田谷区ふるさとハローワーク）、障害者就労支援施設（障害者就労支援センターすきっぷ分室クローバー、障害者支援センターしごとねっと）	
公共施設	図書舘	なし（図書館カウンター三軒茶屋のみ）
	地区会館、区民集会所など	太子堂区民センター、三軒茶屋区民集会所、世田谷区民会館別館「三茶しゃれなあどホール」、スカイキャロット展望ロビー

住まい・環境・防災

主な公園・緑道・広場	三軒茶屋ふれあい広場、烏山川緑道、世田谷区立公園条例上の公園（アメンボひろば公園、かえるひろば公園、かどっこひろば公園、こぶしひろば公園、したのやばし公園、太子堂ありんこ公園、太子堂円泉ヶ丘公園、太子堂さくらひろば公園、太子堂やまもも公園、太子堂一丁目公園、太子堂三丁目公園、トンボひろば公園、西太子堂公園）

土地利用、地理的特徴（住宅の特徴を含む）

区の東部に位置し、国道２４６号と淡島通り沿いの小高い地形と、烏山川沿いの谷状低地が混在している。三軒茶屋駅周辺は活発な商業地でいくつかの商店街がある一方で、一歩入ると古くからの住宅地等があり、農村からの地形を引き継ぐような狭小な道路も多くある。住宅の不燃化も進んでいるが、密集していることから、防災まちづくりや災害対策を進める上での課題になっている。

交通の便に関する事項（鉄道・道路）

鉄道は、東急田園都市線と東急世田谷線三軒茶屋駅、世田谷線西太子堂駅があり、三軒茶屋駅は１日の平均乗降人員は、１３６，３７５人（２０２４年度田園都市線　２０２３年度より３．３％増）と、区内の中では、下北沢駅、二子玉川駅とともに、利用者の多い駅の一つである。道路は、国道２４６号線、首都高速３号線、世田谷通り、茶沢通り、淡島通りに囲まれており、交通量も極めて多く、交通の要衝の地である。

産業に関する事項（買物・商店街などを含む）

駅周辺は商店街が複数あり、二子玉川、下北沢と並んで、区を代表する商業の中心地である。三茶おしごとカフェ、商業関係団体の事務所などもあり、産業の中心地である。また、文化生活情報センター、パブリックシアター、男女共同参画センター「らぷらす」、世田谷若者総合支援センター、ぷらっとホーム世田谷など、区内唯一の施設が多く集積し、拠点的特徴を示す場所になっている。

防災　→　各地区の地区防災計画を参照

地区課題解決の取組み

地区ビジョン
『住んでよかったまち太子堂・三軒茶屋』から、『住み続けたいまち太子堂・三軒茶屋』へ ●教訓を活かした安全・安心の基盤づくり ●多世代交流による太子堂・三軒茶屋の元気づくり ●自分のまち、太子堂・三軒茶屋を好きになる環境づくり

課題、取組みの方向性
１　子どもの居場所確保と多世代交流の促進 太子堂地区には児童館、図書館、広い公園がない。そのため遊びや学習の場を含めた居場所の確保が課題となっている。
２　地区住民の交流・活動・参加促進のための「人」と「場」の確保 集会施設の利用率が高く、広域の住民による施設利用も多いため、地区の支えあい活動等の拠点が不足しており、地区住民の交流・活動・参加の機会が限られている。
３　地区の特色を生かした地区防災力の向上 指定避難所である各小中学校での訓練を中心に様々な防災訓練を実施している。太子堂小学校では地区合同防災訓練、避難所運営訓練、サバイバルキャンプ、中里小学校、太子堂中学校、三宿中学校ではそれぞれ避難所運営訓練をそれぞれ実施している。

参加と協働の地域づくりの取組み内容（参加と協働を基盤とした地区課題への取組み）	
①	子どもの居場所確保と多世代交流の促進 四者連携会議では、地域活動団体と連携し、総合支所の支援のもと「そとあそび」や「みちあそび」プロジェクトを進めるなど、特に子どもの「遊び」を重視した取組みを進めている。このことを通して、子どもが子ども同士や地域の様々な大人と交流し、様々な課題に挑戦する環境を整え、挑戦する心や責任感、自己肯定感を地区の中で育んでいく。また、地区の大人たちも子どもを寛容な意識で見守ることで、多世代交流を図る取組みにつなげていく。
②	地区住民の交流・活動・参加促進のための「人」と「場」の確保 地区で働き学ぶ「人」や、活動する「場」の確保を図るため、商店街、民間事業所、大学等との地区内のネットワークを最大限に活用して、会議や打合せの場を確保するとともに、様々な人材の参加を促進してきたところである。引き続き地区活動への運営参画や参加を働きかけ、いつでも協力し合えるネットワークづくりの取組みを進めていく。
③	地区の特色を生かした地区防災力の向上 令和８年度の太子堂地区防災訓練でも、町会、地区住民とともに、太子堂小学校の児童も防災訓練に参加し、災害等が発生した場合の自助について理解を深め、地区で活動する意識を高めることができた。また、体験型防災フェア、あんしんフェア、オレンジの日等の定着しつつある行事や「そとあそび」や「みちあそび」等の取組みを通して、商店街、民間事業者、大学生や小中学生との平常時からの交流や関係づくりを深め、昼間人口が多い地区における防災への備えを強化して、防災力の向上につなげていく。